



北米ホーリネス教団  
オレンジ郡  
キリスト教会  
「週報」

2015年の努力目標

1. 朝の15分の祈りを大切に。
2. 聖書日課に励もう
3. 祈り会に参加しよう
4. 聖書研究・家庭集会への参加
5. 礼拝欠席の時は牧師に連絡を。

◎集会案内◎

日曜 礼拝 : 9:30~10:45am  
 コヒー・アワー : 日曜日 10:45~11:15am  
 聖書の学び : 日曜日 11:15~12pm  
 みふみ会 : 水曜日 10am  
 定例祈禱会 : 水曜日 7:30pm  
 早天祈禱会 : 土曜日 7am  
 家庭集会 : 各地区に2箇所  
 牧師 : 杉村 幸 (日本語部)  
 : 益田デーロ (英語部)  
 電話 : (714) 827-6244 (教会)  
 : (714) 527-1456 (牧師館)  
 E-Mail : sugimura1950@gmail.com  
 教会ホームページ : www.occc.org  
 教会所在地 : 4872 Bishop St.  
 Cypress, CA 90630

◎石叫 ■ 「六十歳のラブレター」

『60歳のラブレター』(NHK出版・二〇〇一年)という本を、ある方の本棚に見つけた。一六五通の作品中、六十七歳の〇氏のもの的心を打った。

もちろん返事など望んではいないが一言だけ言わせておくれ。  
 「おふくろは厚化粧が嫌いだからそのつもりで頼むよ」  
 東京発広島行き急行安芸号に乗り込む前、広島に着けば僕の両親との初対面が控えており、軽い注意のつもりで耳打ちしたその一言を、それから四十二年間、ずっと君は守り続けてきてくれたんだっけ。  
 以後、君の姿見の前から乳液以外の口紅とかマニキュアなど、すべての化粧品が消えてなくなってしまうていたね。  
 衰えの目立ち始める老境にさしかかると、さすがに少しは化粧でもしてくれればと何度思ったことか。でも口に出してまではどうしても言えなかった。  
 お通夜のお客さんが帰った後、使い古しの口紅を娘から取り上げたそれを、胸の上で組んでいる君の掌の中にと握らせたのは、それまでの君に対する、咄嗟にひらめいた贖罪の気持ちからだっただんだ。  
 初めて君と会ってから駆け落ち同然の日陰の身の日々。  
 猛反対する君の両親や僕の両親に懸命だった約一年間のあの頃の、君にまた会えるのもそう遠い先のことではあるまいと思う。  
 その時には、それが許しのサインだと思いたい僕を、あのいつも絶やさなかった笑顔、朱唇をほころばせての笑顔で出迎えてくれるだろうね。

愛する妻を先に天に送った夫の切ない思いが切々と伝わって来る。四十二年間の夫婦生活だ。贖罪の気持ちというものは、数多くあったものではあるまいか。でも、両親に会う前の緊張の頂点にある妻への何気ない一言が、彼女の生涯を貫く信念になったのだ。それは夫を愛する思いからであり、自分を律する戒めでもあったろう。否、その一言が妻にはお互いを結ぶ絆と考えたものではあるまいか。それが夫には心の痛みであり、いつかは償いたいと思いつつ、四十二の春秋が過ぎたのだった。「愛はいつまでも絶えることがない」(1コリント十三・8)とある。絶えることなく妻は夫の一言を心に留め、夫は妻への贖罪の思いを背負って生きてきたのだ。愛とは何とも切ないものであることよ！

「オレンジ郡キリスト教会の歩み」

オレンジ郡キリスト教会は1977年に発足し、東洋宣教会・北米ホーリネス教団に所属するプロテスタント教会の一つです。北米ホーリネス教団は1921年に創立され、現在は日英両語合わせますと2000名を越える会員になります。

私たちの教会は18世紀に、英国で始まったジョンウェスレーによるメソジスト教会の流れを汲みます。そして他のプロテスタント教会同様、3世紀以来告白され続けてきた使徒信条を、私達の信仰告白と致します。

